

# 1 連結業績概要 (① 前期比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	増減	増減率	特記事項
売上高	2,203.1	2,016.5	186.5	9.3%	<売上> 原料・エネルギー等各種コストが上昇する厳しい事業環境の中、日本国内とタイPPT社は増収、台湾SYSCO社、中国YSS社は減収
(売上総利益)	326.6	331.8	△ 5.1		
(販管費)	199.9	188.3	11.6		
営業利益	126.6	143.4	△ 16.8	△ 11.7%	<営業利益> 日本国内: 販売価格の改善などから増益 海外: PPT社は増益、ゼロコロナ政策や市況悪化の影響を受けたSYSCO社、YSS社は減益 <営業外収益> 投資有価証券売却益の増加など
(営業外収益)	53.5	39.1	14.3		
(営業外費用)	3.2	3.5	△ 0.2		
経常利益	176.8	179.1	△ 2.3	△ 1.3%	<特別損失> 固定資産除却損計上等
(特別利益)	1.8	1.4	0.3		
(特別損失)	10.0	9.7	0.3		
税引前利益	168.6	170.9	△ 2.2	△ 1.3%	
(法人税等)	49.7	48.3	1.4		
(非支配株主利益)	12.9	24.7	△ 11.7		
親会社株主利益	105.9	97.8	8.0	8.2%	<包括利益> 当期: 当期純利益 118億、退職給付に係る調整額5.8億、為替換算調整勘定24億 ほか
(EPS(円/株))	367.13円	339.77円	27.36円		
当期包括利益	149.1	141.6	7.5		

# 2 連結業績概要 (② 予想比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結 (億円)	実績	予想 (2023年2月開示)	差異
売上高	2,203.1	2,200.0	3.1
営業利益	126.6	127.0	△0.4
経常利益	176.8	165.0	11.8
親会社株主利益	105.9	93.0	12.9

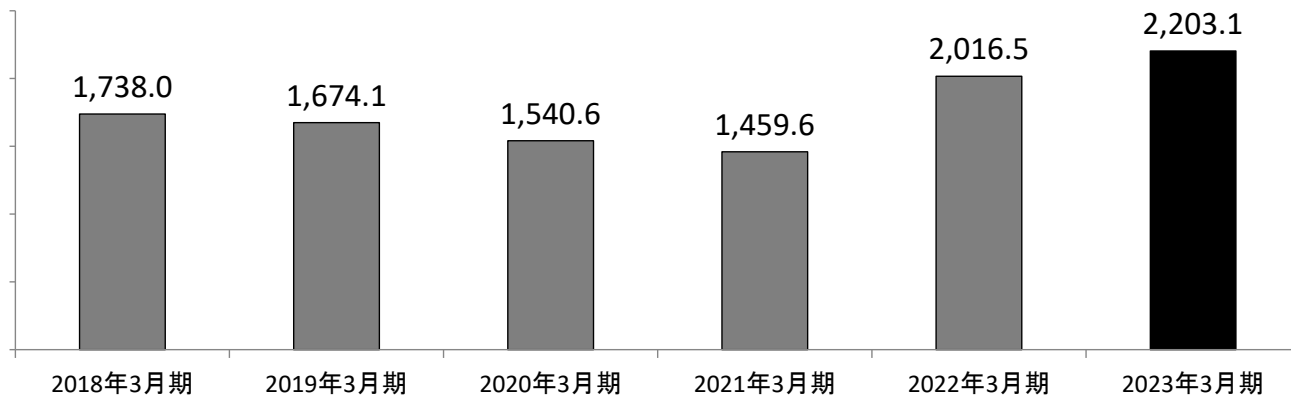
## 【差異要因】

- 経常利益・親会社株主利益：  
4Qに保有していた投資有価証券の一部を売却（淀鋼）

### 3 連結売上推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



#### 【増収186億の主な内訳】

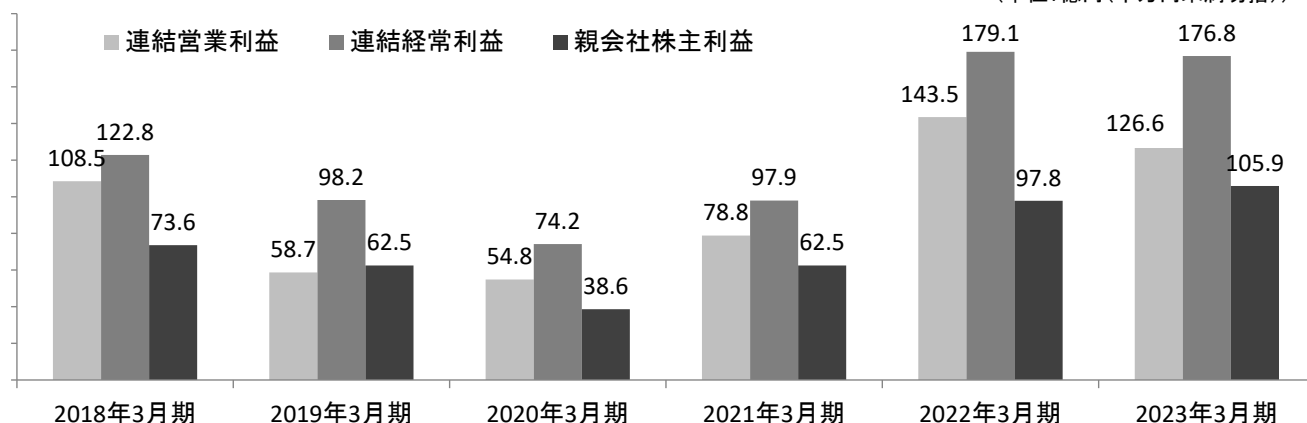
- 淀鋼：増収 178億 ( 1,275.4 → 1,453.5 ) 建築需要の停滞や期間後半にかけての採算重視の販売施策などから鋼板商品販売量減少も、価格改定により、増収
- 台湾SYSCO社：減収△3.2億 ( 540.6→537.3) 海外市況悪化の影響を受け、台湾国内、輸出ともに販売量減少
- 中国YSS社：減収△ 16.1億 ( 140.2→124.0) ゼロコロナ政策に伴うロックダウンの影響を受けて、建材向け、家電向け共に、販売量大幅減少
- タイPPT社：増収12.6億 ( 39.3→51.9) 日系家電向けエアコン室外機用などの拡販に注力し増収



### 4 連結損益推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



#### 【営業利益 減益△16.8億の主な内訳】

- 淀鋼30.8億 ( 79.4→110.3) コスト負担増も販価改善などから増益
- SYSCO社△36.2億 ( 59.2 →22.9) 海外市況悪化による販売量減少により減益
- YSS社△5.9億 ( 0.4 →△5.4) ロックダウンの影響による販売量減少に伴い減益
- タイPPT社 1.9億 ( 1.1→3.0) 原料コスト上昇分の販売価格への転嫁に注力



## 5 セグメント概況

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率
鋼板関連	2,109.5	1,924.2	9.6%	133.1	142.1	△6.4%
ロール	29.2	26.8	8.9%	△2.6	0.0	-
グレーチング	35.0	34.4	1.6%	0.5	1.0	△52.8%
不動産	12.3	12.6	△2.2%	7.8	8.5	△8.3%
報告セグメント計	2,186.1	1,998.2	9.4%	138.8	151.8	△8.6%
その他	16.9	18.2	△7.3%	2.3	4.4	△46.8%
合計	2,203.1	2,016.5	9.3%	141.2	156.3	△9.7%
調整額				△14.5	△12.8	
PL計上額	2,203.1	2,016.5	9.3%	126.6	143.4	△11.7%

## 6 連結財政状態概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期末	前期末	増減	増減率	特記事項
総資産	2,510.5	2,446.7	63.8	2.6%	<資産> (流動) 売上債権減少、棚卸資産増加 (固定) 投資有価証券の売却など
(流動資産)	1,508.6	1,445.2	63.4	4.4%	
(固定資産)	1,001.8	1,001.4	0.4	0.0%	
負債	491.5	527.3	△35.8	△6.8%	<負債> (流動) 仕入債務減少など (固定) 退職給付負債減少など
(流動負債)	350.9	375.5	△24.6	△6.6%	
(固定負債)	140.5	151.7	△11.1	△7.4%	
純資産	2,019.0	1,919.3	99.6	5.2%	<株主資本> 純利益105億、配当△30億など
(株主資本)	1,556.5	1,479.7	76.7	5.2%	
(その他包括利益累計)	240.1	223.1	16.9	7.6%	
(非支配株主持分)	220.9	214.5	6.3	3.0%	
(BPS(円/株))	6,223.26	5,907.11	316.15		
自己資本	1,796.7	1,702.9	93.7	5.5%	
自己資本比率	71.6%	69.6%	2.0pt		

## 7 連結CF概要

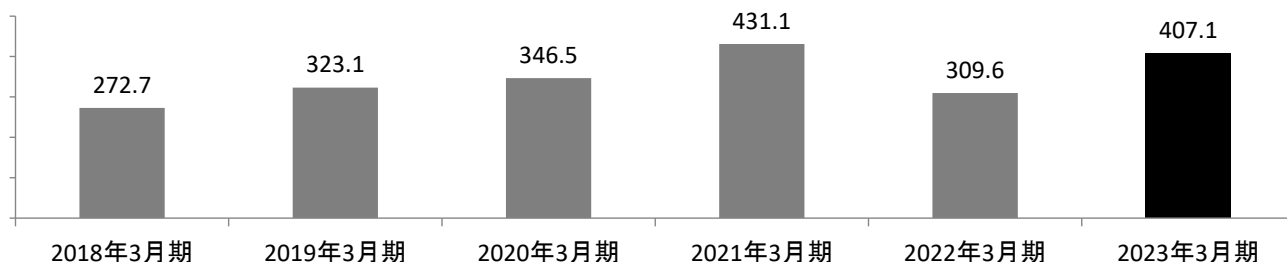
株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	前期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	173.3	△106.4	279.8	—	売上債権の減少および棚卸資産の増加額減少など
投資CF	△31.6	△19.8	△11.7	—	定期性預金の払戻の減少など
財務CF	△50.9	△12.2	△38.6	—	当期: 配当の支払増加
現金及び同等物	407.1	309.6	97.5	31.5%	

(単位: 億円)

### 現金同等物残高



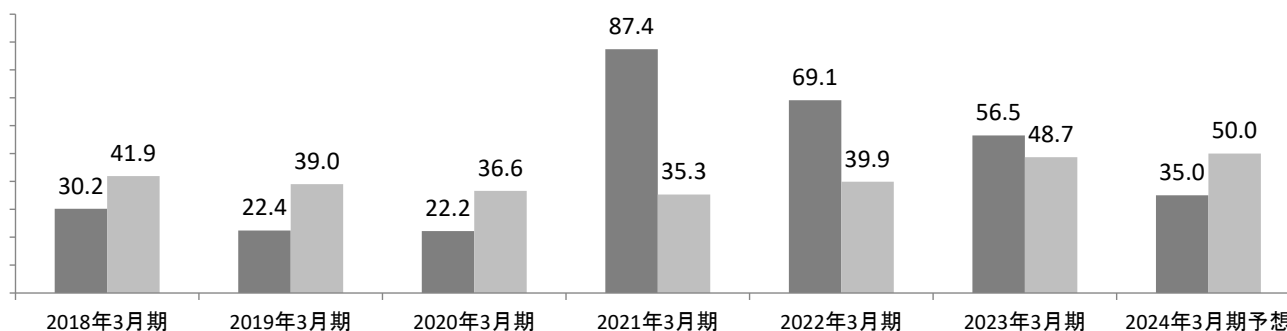
## 8 設備投資と減価償却

株式会社 淀川製鋼所

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	前期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	56.5	69.1	△12.5	△18.2%	福井ヨドコウ
減価償却(連結)	48.7	39.9	8.8	22.1%	福井ヨドコウ
設備投資(個別)	17.2	24.4	△7.2	△29.7%	大きな投資案件なし
減価償却(個別)	22.6	18.8	3.8	20.3%	市川工場社宅など

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



## 9 連結設備投資概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月	総投資額 (資産計上ベース)
当期 実施	淀鋼	市川工場 2号カラーライン電気品	2022年8月	1.6
	淀鋼	大阪工場 防耐火試験装置更新	2022年7月	1.4
	福井 ヨドコウ	新工場建設 - 第2段階	2023年3月	9.7
今後 予定	淀鋼	ルーフ成型機製作	2023年度中	3.0
	淀鋼	大阪工場 5号カラーライン インバーター更新	2023年5月	1.6

## 10 連結業績予想

株式会社 淀川製鋼所

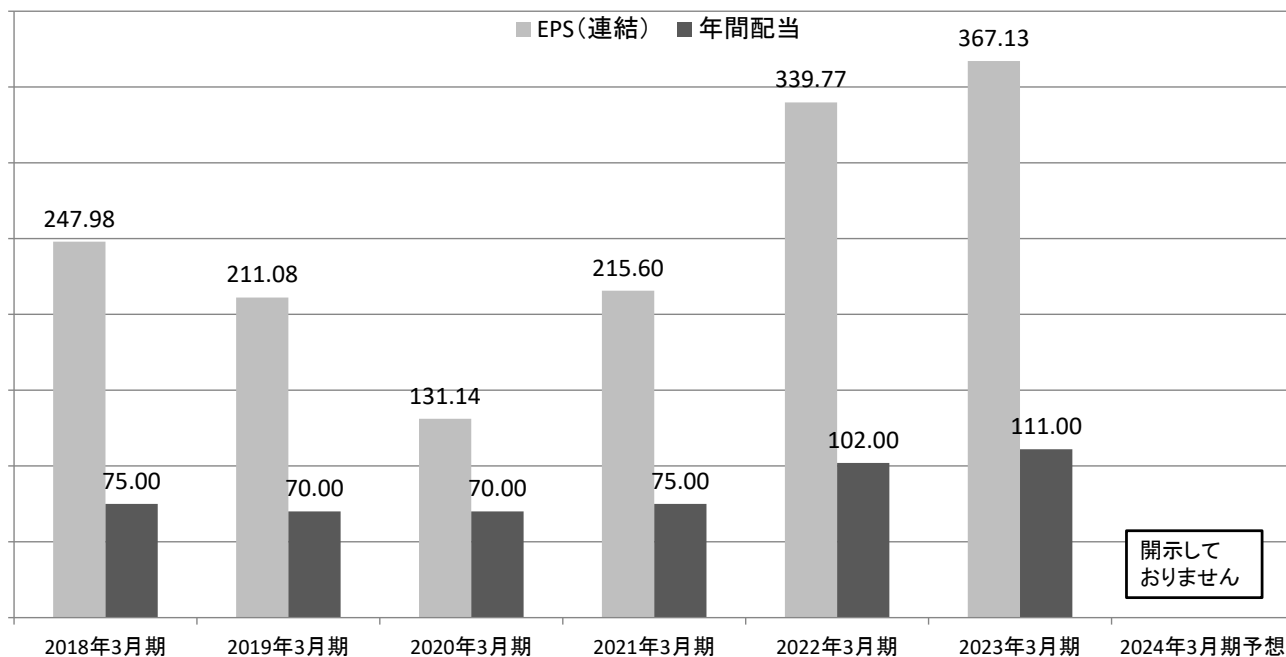
(単位: 億円(千万円未満切捨))

2024年3月期 (令和6年3月期)		第2四半期	当期比増減	通期	当期比増減
連結	売上高	現時点で合理的に算定することが困難であることから開示しておりません			
	営業利益				
	経常利益				
	親会社株主利益				
個別	売上高				
	営業利益				
	経常利益				
	純利益				

- 当社グループの事業環境が日本国内、海外ともに不透明感が高まっていることから、通期の業績予想を現時点で合理的に算定することが困難となっております

# 11 配当

(単位：円/株)

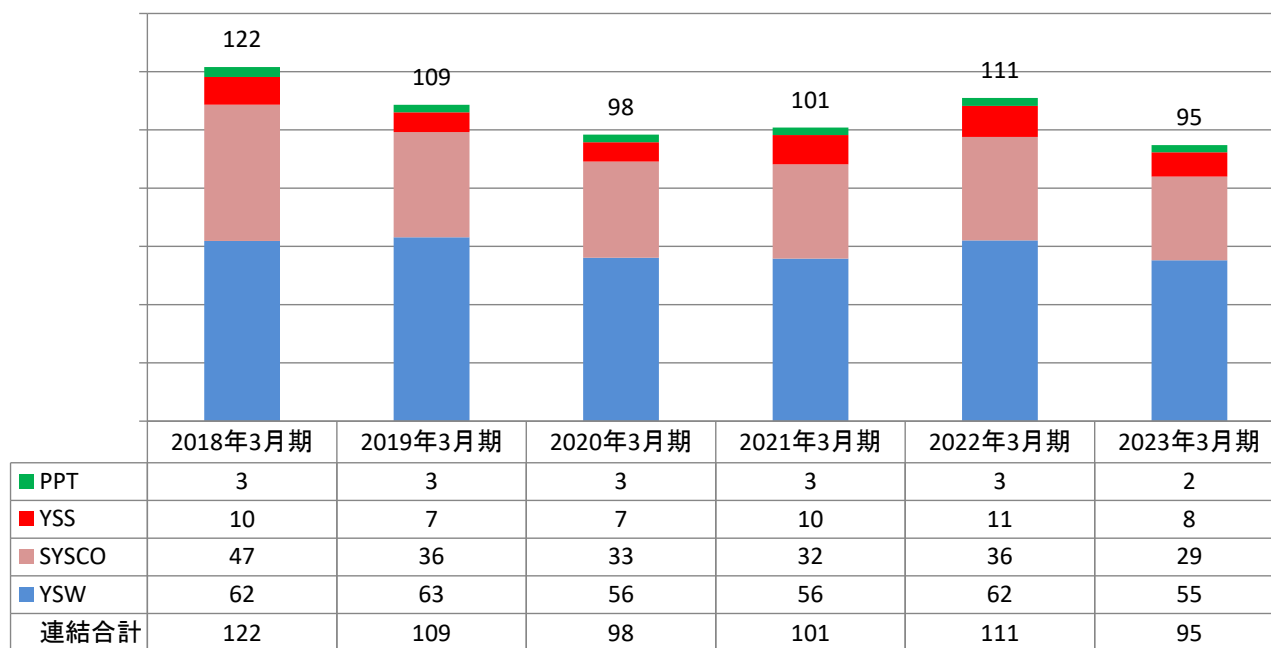


- 通期の配当予想については、合理的な算定による業績予想が開示可能となった時点で、速やかに開示いたします。

# 12 セグメント概況 (ご参考①)

【鋼板商品の一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



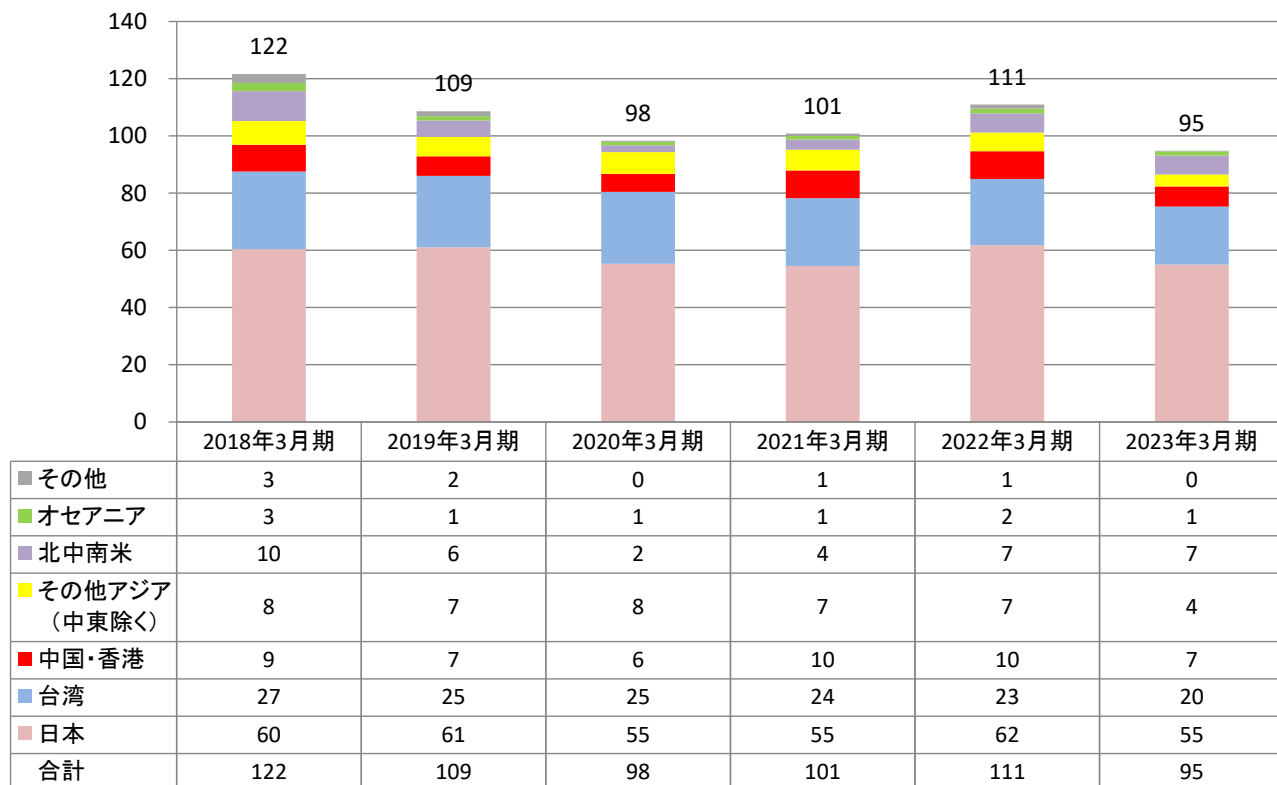
- 4社合計で △16万トンの減少
- 淀鋼△7万トン SYSCO社△7万トン

# 13 セグメント概況 (ご参考②)

株式会社 淀川製鋼所

【鋼板商品の向先別一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



# 14 その他トピックス①

株式会社 淀川製鋼所

【ヨド物置エルモ BEAMS DESIGNモデル】2022年12月より予約販売開始



ヨド物置50周年を記念して2021年4月に発売しましたColemanモデルに続く、人気ブランドとの企画第2弾です。今回は、ファッション以外の分野にも積極的に進出しているビームスから生まれたブランド「BEAMS DESIGN」との協業により、「ミリタリーコンテナ」をデザインコンセプトにした物置です。